

■門真市幸福町・垣内町地区まちづくり用地活用事業に関する概要

門真市幸福町・垣内町地区まちづくり用地活用事業

提案書

（公表用概要提案書）

住友不動産株式会社

【事業コンセプト】

日本で一番、子どもの笑顔が輝くまち

子どもが遊び・学び・成長するとともに、笑顔と希望にあふれるまち。
親子・地域・学校・行政・社会へ夢と希望を波及させ
「このまちにずっと住み続けたい」と思ってもらえるまちづくりを進めます。



子どもが「遊び・学び・成長」とともに、笑顔と希望に満ちあふれるまち。親子・地域・学校・行政・社会へ夢と希望を波及させ「このまちにずっと住み続けたい」と思ってもらえるまちづくりを進めます。

事業者が果たすべき役割

1. 玄関口に相応しいシンボルタワーの創出
2. 賑わい拠点の創出によるまちの魅力向上
3. 継続的なエリアマネジメントの実現
4. 夢や誇りを持てるまちづくり

【空間計画】施設配置・動線計画・防災広場



■ゾーニング・施設配置・動線計画

- ・共同住宅と民間提案施設を敷地西側に配置し、交流の輪から「歴史の輪」に向けて「賑わいの輪」と「学びの輪」の2つの広場を配置します。
- ・東西の「交流の輪」を設置し、人々の回遊性を生み出し、商店街との共存・まちの賑わいを創出します。
- ・駅から共同住宅まではシェルターを設置し、**雨に濡れない動線**を用意します。

■災害時の受け入れ機能

- ・災害時、地域住民の避難や救護に**広場を開放**します。
- ・キッズ(コミュニティ)スペースや屋上キッズエリア(浸水災害時)も**避難所として開放**します。



【居住計画】充実の共用施設、室内空間を有効活用した間取り

■共用施設、ポストコロナに対応したテレワークスペース(3箇所)

子育て世代のニーズ、ポストコロナに配慮した充実の共用施設を設けます。

キッズ(コミュニティ)スペース+テレワークコーナー



テレワークカウンター(ラウンジ)



4F ゲストルーム

キッズ(コミュニティ)スペース+テレワークコーナー



フィットネスルーム



21F パーティールーム(スカイラウンジ)

■間取り

室内空間を最大限に活用する様々な工夫を採用しています。

1タイプ (3LDK、67.48㎡)

4人以下の家族を想定



例: A+B連結住戸 (4LDK、110㎡)

5人以上の家族を想定



柱型を外に出したアウトフレーム
開口部が広い

■連結住戸の設置

(110~140㎡)と大割の住戸の実現も可能です。



居住者専用のテレワークスペースを22ブース確保しています。

【空間計画】広場概要・共同住宅デザイン

■シンボルロードと一体化したまちの中心となる広場「賑わいの輪」



- ・交流を誘発する**本事業用地の中心的な賑わい空間**であり、庇を設置している箇所もある為、雨天時もイベント開催が可能な全天候対応の広場です。
- ・**子どもたちの遊びや多世代交流の空間**として機能し、生涯学習複合施設との連携により、**学びの機会**も提供します。

■子どもの笑顔が絶えない緑の広場「学びの輪」



- ・緑の中に遊具を設置し、**子どもたちが笑顔で自由に走り回れる広場**を用意します。
- ・「賑わいの輪」「学びの輪」はお祭りやイベント等の活動拠点でもあり、**非日常的な賑わい**を創出します。

■共同住宅（超高層タワーマンション）



- ・**門真市内No.1**の大規模・超高層タワーマンション(共同住宅)です。
- ・360度顔となるデザインで、門真市民だけでなく**他の市からも住みたい**と憧れを持たれるようなランドマークを創出します。
- ・モノトーンを基調とした**都会的で洗練されたデザイン**とします。
- ・バルコニー手すりの配色を縦方向に分割することで建物ボリュームを分節し、**周辺への圧迫感を低減**します。

[民間提案施設] 居住者・地域のニーズに沿った施設

民間提案施設には、子どもと家族、地域の方々の日常生活・健康・学びを支える機能を誘致し、隣接する施設との連携により、暮らしの利便性と門真市の魅力を高めます。



■導入予定施設（※4つの機能のうち、いずれかの機能を誘致予定）

- | | |
|----------------------------------|---|
| ①スーパーマーケット
（食を通じたコミュニケーション機能） | ②ドラッグストア・調剤薬局
（健康で元気な明日を支えるウェルネス機能） |
| ③クリニック
（安心して頼れる地域のかかりつけ医） | ④こども教室・放課後児童クラブ
（未来へ輝く子どもの学びを応援するスクール機能） |



■エリアマネジメントセンター（地域の魅力を発信するエリマネ拠点）

[附帯計画] 広場の利活用方法

「賑わいの輪」「学びの輪」「屋上キッズエリア」の屋外広場は、子どもたちが自由に遊べる空間として開放します。またイベントやスクール、サークル活動などの開催場所にもなります。

■屋外広場（賑わいの輪）



■屋外広場（学びの輪）



- 「賑わいの輪」は、子どもたちが**自由に遊び、学べる広場**で、民間提案施設屋上の「屋上キッズエリア」には、らせん階段を使って、**誰でも自由に行き来**もできます。
- 底もついているため**雨天でも遊ぶ**ことができ天候に関わらずイベントも開催可能です。
- 「学びの輪」は、「歴史の輪」の円墳をモチーフにした**遊具を設置**し、「歴史の輪」を含めて子どもたちが自由に遊べる空間とします。
- 協力会社と連携し、**子ども用遊具**を使ったイベントも開催可能です。



■エリアマネジメント活動での活用

- 「賑わいの輪」「学びの輪」はエリアマネジメント活動の場としての中心的な役割を担い、祭りやマルシェ、フリマやワークショップ、遊具遊びなど、多彩な**イベントを開催**します。

<イベントの例>



多国籍料理マルシェ



海洋生物調査体験



ママパパカフェ



防災啓発イベント

[パース]

■京阪古川橋駅方面からの鳥瞰パース



■駅前から事業用地を見たアイレベルパース

